

介護総合演習Ⅱ

担当教員 吉岡 久美、馬場 敏彰

配当年次 1年

開講時期 第2学期

単位区分 選択

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

- ・学内で学んだ知識に基づいて利用者と関わりを深め、介護ニーズについて説明できる
- ・高齢者施設での機能や利用者の特徴について説明できる。
- ・高齢者の日常生活援助に関する介護の目的や機能並びに施設職員の一般的な役割について説明できる。

【授業の展開計画】

科目担当者実務経験

【吉岡】大学病院（看護師）、一般病院（看護師長）、訪問看護ステーション（訪問看護師・管理者）、介護福祉士養成校教員 他

【馬場】介護施設（介護福祉士）、介護福祉士養成校教員 他

週	授 業 の 内 容
1	介護実習Ⅰを振り返り、高齢者施設での機能と福祉施設職員の役割を理解する（吉岡）
2	介護実習Ⅱの課題である、利用者の特徴とコミュニケーション方法を理解する（馬場）
3	介護実習Ⅱの要項をもとに、課題の理解と心構えについて深める（吉岡）
4	介護施設における各職種の業務内容と連携について理解する（吉岡）
5	高齢者施設を利用する人の生活について考える（馬場）
6	カンファレンスの種類を知り、実習カンファレンスの意義・方法を検討する（馬場）
7	介護実習日誌の重要性の理解と具体的方法を知り、実践することでその内容を検討する（吉岡）
8	介護実習における介護過程の展開（個別介護のための利用者情報獲得）方法を検討する（吉岡）
9	介護実習Ⅱの実習目標および行動計画を作成する（吉岡・馬場）
10	介護実習Ⅱの実習目標および行動計画を見直して具体化する（吉岡・馬場）
11	実習における自己評価項目を作成する（吉岡・馬場）
12	実習の全体像、施設理解、利用者理解、生活支援技術実施を具体化する（吉岡・馬場）
13	介護実習Ⅱの直前指導として課題を確認し、実習における行動・学習を検討する（吉岡・馬場）
14	介護実習Ⅱを振り返り、課題を整理して報告書を作成する（吉岡・馬場）
15	実習の学びと実践を発表し、共有しながら高齢者施設における介護を探求する（吉岡・馬場）

【履修上の注意事項】

規定の出席回数を満たしていなければ評価対象としない。

事前学習として、指示された項目を調べてまとめておくこと。（30分）

事後学習として、講義終了後にノートを整理し、指示された課題に取り組むこと。（30分）

【評価方法】

取り組み状況20% 授業態度40% 提出物（課題・レポート等）40%

提出された課題レポートについてはコメントを入れて返却する

【テキスト】

介護福祉士養成講座編集委員会『介護総合演習・介護実習』中央法規

【参考文献】

適宜紹介する。